

茶の間で二カ月、赤い実観賞

ブームの盆栽サクラランポ

寒河江・三泉 栽培農家ふえろ

寒河江市のサクラランポ産地、三泉地区では盆栽サクラランポの栽培が盛んになってきた。これまで自家用には行われてきたが、開成、種船栽培場一帯など、一昨年からは観賞のめざすつけ、出荷を始めた。とくにこれが大ヒット。本格的な栽培を始めるサクラランポ農家が増えている。

茶の間で二カ月間は赤い実をつけたサクラランポが観賞できるとあって、県内だけでなく、サクラランポのない地域へも人気があつていける。軽部さん曰く、東京市場へ出荷はらの出納計算を立てていたが、直接訪問する人との取引ではとんど売れ切れた。

なり置観賞が盛なり、毎年苗木がえつてつておけば二三日には出荷できやうとあって、産地の人々も、むしむし盆栽サクラランポの栽培に力を入れた農家が増えてきた。



満開になった軽部さん方の盆栽サクラランポ